



ひまわり



桶川市青少年健全育成市民会議

第 41 号

平成 30 年 1 月 1 日 (年 1 回発行)

発行 桶川市青少年健全育成市民会議

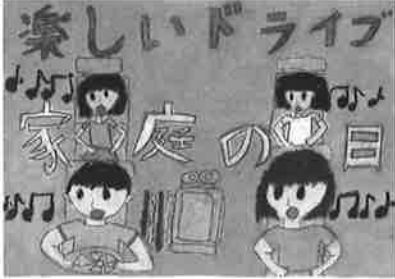
編集 青少年健全育成市民会議

広報発行委員会

事務局 桶川市教育委員会生涯学習文化財課

☎ 7 8 6 - 3 2 1 1

✉ shogai @ city.okegawa.lg.jp



川田谷小学校 4年 岩間 陽咲
「楽しいドライブ」



加納小学校 5年 山田 紡生
「家族で花火」



日出谷小学校 5年 矢澤 史哉
「おめでとうおじいちゃん」



加納中学校 1年 栗原 美百合
「家族の輪と絆」



桶川中学校 2年 川村 歩
「感じる温もり家庭の日」



桶川東中学校 2年 吉田 陽菜
「スイカと夏の思い出」

平成29年度「家庭の日」
ポスターコンクールで優秀賞を
受賞された皆さんの作品です。
おめでとうございます。
(敬称略)



市民大会にて講演会が行われました

「子どもたちの未来のために いま親ができること」



政治・教育ジャーナリスト／文化放送プロデューサー 清水 克彦 氏

2020年度から、大学入試が大きく変わります。マークシート方式のセンター試験が廃止され、記述式問題が増えるというのです。「21世紀型学力」が問われる時代、幅広い知識や技術の上に思考力・判断力・表現力が培われ、主体性・多様性そして協働性が養われる、これこそが今、求められる「21世紀型学力」なのです。

そのために今から親（家庭）ができることは何か。睡眠時間をしっかりと確保し、朝ごはんを食べさせるなど、規則正しい生活を身につけさせることです。その上で「は・み・が・き・よ・し」

は〓話そう！

み〓見よう！

が〓書こう！

き〓聞こう！

よ〓読もう！

し〓調べよう！

をキーワードに、子どもと一緒に日々の生活を送ることが大切だと述べられました。

これから先、どんな社会になっても適応できる、表現する力・調べて発表する力を持つ子どもに育てるためには、子どもの前で世界のことや日本のことについて話をする、子どもと一緒にニュースを見たり、新聞や本を読んだりする、旅行のプラン

をたてて外出をする、会話は親がしゃべりすぎないで子どもに話をさせる、子どもの得意なことを応援する、地域の行事に参加させる、自分の行動に責任を持たせる、ということと意識する必要があります。それは、自分を大事にすること（自己肯定感）につながっていきます。

子どもに自己肯定感を植え付けるコツは、子どもを「ありのまま」に受け入れることです。生まれたばかりの時は、無事に生まれたということへの喜びに溢れ、ただただ嬉しいという気持ちです。それがだんだん他者と比較することでその子の「ありのまま」を受け入れられなくなってしまうのです。また、ほめて自信を持たせること、「叱る」のではなく、「成長への課題」を与えること、子どもの得意なことや好きなことを応援することが大事だと、教えてくださいました。子どもが高い自己肯定感を持つことは、子どもが大きく成長することへの近道だと感じました。

親は使い古された疲れた中古車になるのではなく、輝きを放つクラシックカーのような人生を生きる、というお話に、これからの人生に夢を持って生きたい、その背中を見せながら・・・と強く思いました。

(西永)

第30回
桶川市青少年健全育成市民大会



11月18日(土)、桶川東公民館大ホールにおいて、第30回桶川市青少年健全育成市民大会が開催され、開会行事に続き、講演会及び表彰式を実施しました。

講演会では政治・教育ジャーナリスト／文化放送プロデューサーの清水克彦さんによる講演「子どもたちの未来のために いま親ができること」が行われました。

その後、「青少年育成成功労賞」の表彰が行われ、さらに市内小・中学生が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクール、「家庭の日」ポスターコンクール及び第30回市民大会記念事業として実施した「非行防止」標語コンクールの表彰と、作文コンクール優秀賞作品の朗読が行われました。

(濱田)

桶川市青少年健全育成市民会議総会

5月13日(土)、桶川東公民館大ホールにおいて、平成29年度桶川市青少年健全育成市民会議総会が開催されました。

総会行事に先立ち、「家庭教育のあり方について」子供を取り巻く環境の変化の中で」と題して、埼玉県家庭教育アドバイザーの田中茂樹さんに講演していただきました。

講演の中では、「親であることは重要な職業だ。しかし、この職業には適性検査はない」「子どもを持つことは簡単だ。しかし、母親、父親になることは難しい」などの他、家庭での子どもとの関わり方をお話し

てくださいました。

その後、総会も滞りなく終了しました。(小高)



おけがわ春のふれあいフェスタ

5月7日(日)、駅西口公園と桶川市民ホールにおいて、2017おけがわ春のふれあいフェスタが「がんばろう日本!熊本地震 東日本大震災復興支援」をスローガンに掲げ開催されました。

市民ホールでは、市内中学校の吹奏楽部、桶川高等学校吹奏楽部及び桶川市民吹奏楽団が、素晴らしい演奏を行い、会場は熱気に包まれていました。

当日は晴天に恵まれ、多くの出店

団体とステー

ジ出演団体の

皆様のおかげ

で大盛況のう

ちに終了する

ことができました。

また次回も多くの参

加者に喜んで

いただけます

ように。

(小高)



非行防止街頭キャンペーン

7月5日(水)、桶川駅周辺において、非行防止街頭キャンペーンが実施されました。晴天に恵まれ、初夏の風が吹く中、構成団体と上尾警察署の協力もあり、100名以上でリーフレット等を配布し、非行防止を呼びかけました。

(寺田)



市民まつり非行防止キャンペーン

11月3日(金)、さわやかな秋空の下、市民まつりが開催されました。当市民会議構成団体及び関係者の方々の協力により、桶川小学校・中山道において風船やリーフレットを配布し、青少年の非行防止を訴えました。

(寺田)



親子ふれあいウォーク

10月7日(土)川田谷地区、10月21日(土)加納地区にて、今年度も親子ふれあいウォークを予定していましたが、両日ともに雨のため、参加者

及び企画運営側の希望もむなしく中止となりました。

神社や公園などをめぐるスタンプラリー、オケちゃんとの写真撮影などで楽しんでいただく予定でした。

来年度の天気に期待します。(対馬)

コンクールの入賞者が表彰されました

青少年育成功労賞表彰

桶川市青少年健全育成市民会議



市民大会で行われた表彰式では、青少年の育成に顕著な功績のあった個人や団体の皆様に「青少年育成功労賞」が授与されました。また、第30回記念事業として実施した「非行防止」標語コンクールでは、市内小・中学校の児童・生徒が3462点応募し、最優秀賞1点、優秀賞10点の入賞者の表彰を行いました。さらに、市内小・中学校の児童・生徒が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクールでは476点、「家庭の日」ポスターコンクールでは108点の応募があり、それぞれ優秀賞6点、優良賞6点の入賞者の表彰を行いました。表彰された皆様や作品を紹介します。(敬称略)



会長 渋谷 光章

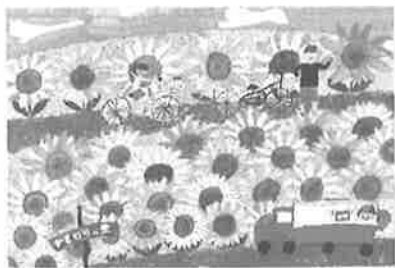
●個人の部
桶川レッドサッカースポーツ少年団
能戸 和久
桶川ヤンキーススポーツ少年団
永井 知洋

桶川カーディナルススポーツ少年団 大谷 裕之
川田谷ベアーズスポーツ少年団 柳川 秀和
桶川レグルススポーツ少年団 小島美奈子
桶川市子ども会育成連絡協議会 石井しのぶ
桶川市人権擁護委員会 富士原秀子
桶川ライオンズクラブ 山本 勝
桶川地区更生保護女性会 遠藤エキ子
鴻巣地区保護司会桶川支部 山中 敏正
●団体の部
朝日小学校学校応援団 安心安全ボランティア部

コンクール

優良賞作品

「家庭の日」ポスターコンクール入賞者



加納小学校 6年 松本 結菜
「おばあちゃんに行ったひまわりの里」



桶川西小学校 4年 新居 春乃
「家族で温泉に行ったよ！」



「家族との時間」
桶川東中学校 2年 星月 亜美



桶川中学校 2年 竹内 美伶
「家庭の日」



青少年育成功労賞、標語・作文・ポスター

第30回市民大会記念事業

「非行防止」

標語コンクール入賞者

最優秀賞



そのいざし 開いてさし出し あく手しよつ

日出谷小学校6年 鈴木 峻真

講評

標語は、自分のことを大切に思う気持ちを意識した作品の数々、仲間を大切にする気持ちが表現された作品です。

作文は、家族や命の大切さ、国際理解など幅広いテーマに感じました。みずみずしい感性と学んだ知識をまとめ上げ自分の考えを堂々と主張されました。

ポスターは、家族の絆を自分なりにイメージした作品や、自分の体験を元に家庭の良さを伝える作品です。

受賞された皆様は標語や作文、ポスターという形で想いを発信され、それは確かに私たち全員の心に染み入りました。(磯)

優秀賞



ことわる勇氣 にげる勇氣 相談する勇氣

桶川西小学校4年 川上 莉央

帰ろうよ あなたの居場所は そこじゃない

加納小学校6年 進藤菜々美

悪いこと とめる勇氣は つよいこと

川田谷小学校6年 砂川 彩人

「僕は無理」 その時言おう きつぱりと

桶川東小学校4年 鈴木 蓮

いいのかな 心にきいて 考えよう

朝日小学校5年 佐藤 季哉

やめようね なかまはずれに しらんかお

桶川小学校5年 松本 愛花

ダメはダメ！ はつきり言おう その言葉

桶川中学校3年 小澤 一輝

その一歩 人生狂わず 境界線

桶川東中学校3年 松本 洸

ひとことで あなたを救う その勇氣

桶川西中学校1年 穴戸 凱

考えて あなたを信じる 人がいる

加納中学校1年 甘楽 結希

優秀賞

「私たちの主張」作文コンクール入賞者



「私の家族」

桶川西小学校6年 長谷川菜々輝

命の価値

桶川東小学校5年 村上 凜果

ぼくはつづける！

桶川東小学校4年 田中琥大朗

私と世界をつなぐもの

桶川中学校3年 石井 綾

平和の祭典 東京オリンピックに願いを込めて

桶川東中学校1年 齊藤 美雅

「性別に関わらず自由な人生を送れる社会に」

桶川中学校2年 高橋 優太

ポスター

「家族との楽しい時間」

桶川東小学校 6年 西部 璃子



桶川西中学校 2年 大谷 南津美
「We love BBQ！」

優良賞

人々が望む平和へ

桶川小学校6年 中村 紅玲

戦争〜世界平和を伝える〜

朝日小学校5年 道津 若奈

私のしょう来の夢

桶川小学校5年 北脇 雪愛

「これからの未来に向けて私ができること」

加納中学校3年 錦織 愛

「教えてくれてありがとう」

加納中学校2年 平井 七美

ぼくとサッカー

桶川中学校1年 浦川 舜



埼玉県「家庭の日」 ポスターコンクールで優良賞

埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議が主催する平成29年度「家庭の日」ポスターコンクールが行われ、桶川東中学校1年の水野寧々さんの作品「浴衣でお祭り」が、中学生の部で優良賞を受賞しました。



青少年育成 埼玉県民会議会長より表彰

11月20日(月)、知事公館において、青少年育成埼玉県民会議の表彰式が行われ、桶川市青少年健全育成市民会議の構成団体である桶川市青少年

桶川市巡回指導員を 知っていますか

巡回指導員は、市内の小・中学校PTA役員で構成されており、月2回、青少年の健全育成のために、街頭や娯楽施設を中心に巡回指導を行っています。

また、桶川の祇園祭が行われた7月15日(土)・16日(日)には、夏祭り巡回指導を行いました。16日は強風のため祇園祭が途中で中止になってしまいました。多くの巡回指導員が参加しました。

8月31日(木)には、巡回指導員研修会を行い、県央地域振興センターの

相談員協議会の被川 巧さんが「青少年育成功労賞(個人)」を受賞しました。



関口比呂志さんを講師に招き、「子供の安心安全のために」をテーマに講演していただきました。子どもの安全対策ということで、危険な場面での具体的な対策の方法を、ビデオで勉強しました。

その他にも、非行防止キャンペーンや、年2回の連絡会議に参加するなど、青少年の健全育成のために活動しています。

(渋谷)



巡回指導員研修会の様子

ひまわりのつぶやき

★ものづくりは人づくり。社会の基となる家庭においても、素晴らしい家庭を築くには、正しい道を進むことが出来る人を育てあげること。それが、社会の安定と世界の平和へとつながるのでしよう。(渋谷)

★挨拶は簡単なようでなかなか難しい。子ども達が元気な声で挨拶出来るように私達から声をかけていきたいと思えます。(小高)

★もうずっと意識していることがある。それは・・・常にアンテナを高くすること。そうすると、いろんな情報をキャッチできるから。(西水)

★今回、広報ひまわりに初めて参加させていただきました。今まで楽し

編集後記

子どもが受難の時代・・・登下校でも安全とはいえない切れない世の中で、社会経験の乏しい子どもを狙う卑劣な犯罪が後を絶たない昨今。我が子をどのように守るべきか?安全な時代に育った親世代には計り知れない危険が子どもを取り巻いています。

巡回指導員や地域の方々温かく見守ってくれているからこそ、安心

く行事に参加してきましたが、たくさんの方々のご協力があったの事だと知りました。感謝、感謝です。(寺田)

★この役目を受け東公民館に掲示してあるシルバー川柳を知りました。シルバーの方達のセンスに脱帽です。出会いのきっかけを作ってくれた子ども達に感謝!(濱田)

★いつからが大人か分からない。娘に言われて、私も大人側だったんだと再確認。誰もが通る悩む時期。悩め悩め、そうして大人になるんだぞ。でも子ども心も忘れずにね。(対馬)

★涙という字には戻という字がある。笑顔に戻ろうって意味。。。泣いても立ち上がろうって意味。。。本で読んだポエム、子どもにも教えてあげたいな。(磯)

して子どもを送りだせるのだと思います。地域の安心安全ネットワークの充実が犯罪抑止力の力強い味方です。巡回指導員や地域の方々の活動に、感謝申し上げます。私たち保護者も子ども達を温かく見守り続け、安心安全な地域社会を作り上げていきたいと思えます。

思いもよらず広報ひまわり発行委員会に参加することになり、1年間の短い期間でしたが編集の仕事に参加させていただきました。様々な点で勉強になりました。(磯)